



NIMURA

金属加工分野を拡大

表面処理 技術活用 5軸MC機など導入

めっき加工を手掛けるNIMURA（本社愛西市森川町、二村義博社長、電話0567・24・1511）は、めっき加工を主軸としながら金属加工分野を拡大させている。めっき加工の対象となる素材を増やす一方、金属加工分野ではマシニングセンタ（MC）や複合レーザー加工機を導入するなど設備投資を進めている。めっき加工分野を水平展開するとともに、同分野で培った表面処理ノウハウを金属加工分野にも積極的に生かしていく方針。

（愛西・鶴居知世）



二村義博社長

主力事業のめっき加工は、1978年に始めた。粉体の炭素やモリブデン鋼

を対象とした加工工程を新たに確立するなどして、需要開拓を図っている。一方、食肉加工機メーカーからの受注増などで、近年は、金属加工分野の売り上げが、全体の約7割を占めるようになった。

昨年7月には、板金加工用に複合レーザー加工機を新規導入した。従来より3倍の速度で切断できるようになったほか、これまで手作業だったねじ加工を機械加工できるようになり、生産効率が向上した。



めっき加工を行う本社南工場



昨年12月に導入した五軸マシニングセンタ

●尾張支社
一宮市栄

2-14-29
アスティー宮
北館102号

電話
0586(72)5003
FAX
0586(72)6823

●尾東支局
春日井市上条町

1-215
原ビル4階

電話
0568(41)9950
FAX
0568(41)9951

●半田支局
半田市泉町1-4

新美ビル4階

電話
0569(24)6320
FAX
0569(24)6367

ラグビーW杯開催支援

東海市で釜石タウンミーティング



体験イベントでタックルに挑戦する参加者

【東海】東海市はこのほど同市内で、2019年に開かれる「ラグビーワールドカップ（W杯）」の関連イベント「釜石タウンミーティングin東海」を開催した。

姉妹都市の釜石市支援が目的。釜石市と共催し、講演会をはじめ、ラグビーの体験イベント、釜石の物産展

また、昨年12月には、ものづくり補助金を利用し、6千万円を投じて、5軸制御のマシニングセンタを導入した。航空機向けを中心とした複雑形状の部品加工も可能となった。導入に合わせ、17年9月をめぐりに航空宇宙産業の品質管理規格「JISQ9100」の認証の取得を目指している。航空宇宙分野にもアプローチできる体制を整えていきたい考え。

金属加工事業部の二村厚史部長は「表面処理の工程でめっき事業部と連携することにより、他社と差別化を図っている」と話す。

二村社長は「金属の表面における雑菌の繁殖を防ぐ電解研磨を自社でできるようにして、衛生面でも付加価値を高めていきたい」と、一層の業容拡大へ意欲を示している。

同社は1968年設立。従業員数は57人。2016年9月期の売上高は約10億円。

商談件数は平

「Bishu S」

【一宮】日本毛織物等工業組合連合会などで構成される

の9人切たフリ優しいのノン議
1タ釜第だた。リ勝W、松ン議